

目 次

0 時間目	はじめに	3
-------	------------	---

1 時間目	税金の公平な集め方	5
-------	-----------------	---

【チャレンジ！①】

約 50 種類の税金がある理由（税金の公平な集め方）

【解説 1】 税金の公平な集め方

【解説 2】 タックスミックス

【解説 3】 税金の分類

2 時間目	税金からみる民主主義	10
-------	------------------	----

【解説 4】 税金からみる日本国憲法

【解説 5】 税金からみる民主主義

【コラム 1】 「学問のすすめ」 からみる税金

【コラム 2】 税金のルールを守らなかった場合

3 時間目	歳出と歳入	16
-------	-------------	----

【解説 6】 財政の役割

【解説 7】 会計検査院

【コラム 3】 国の予算案はどのように作られるのか

4 時間目 財政の現状と社会保障 22

【解説 8】 社会保障制度

【解説 9】 社会保障費と財源

【解説 10】 歳出に占める社会保障費の割合

5 時間目 財政のこれから～社会保障費を中心として～ 27

【解説 11】 世代別における社会保障の給付と負担

【解説 12】 社会保障費に充てる税金が消費税である理由

【チャレンジ! ②】

社会保障の現状を踏まえた持続可能な財政のために

本冊子で解説している図表の最新年度の金額や数値は、
こちらの QR コードから確認できます。



3 時間目
17 ページ
財務省 HP



4 時間目
25 ページ
厚生労働省 HP



4 時間目
26 ページ
財務省 HP

※ QR コードは (株) デンソーウェブの登録商標です。

(17 ページ URL) https://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/condition/a02.htm

(25 ページ URL) https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21509.html

(26 ページ URL) <https://www.mof.go.jp/zaisei/financial-situation/financial-situation-02.html>

1 時間目

税金の公平な集め方



0 時間目

1 時間目

2 時間目

3 時間目

4 時間目

5 時間目



先ほど、税金は約 50 種類あると答えてもらいましたが、なぜ、約 50 種類という多くの種類の税金があるのでしょうか。

何でだろう……。考えたこともなかったです。たくさんの人に納めてもらうため、ですか。

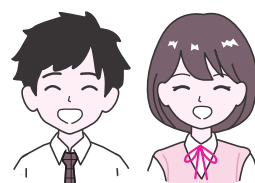


惜しいですね。先に、答えを言ってしまうと、税金をたくさんの人から「公平」に納めてもらうため、だと言われています。

税金の種類が多いことの理由が、なぜ、たくさんの人から「公平」に納めてもらうためなんですか。
よく分かりません……………。



そうですね。では、分かりやすいように、次のページの事例をもとに、みなさんで考えてみましょう。



【チャレンジ！①】 約 50 種類の税金がある理由 (税金の公平な集め方)

A さん、B さん、C さん、D さんの 4 人がいて、それぞれが持っているお金は、下記の表のとおりだとします。

納める税金が全部で 400 万円だとした場合、「公平」に税金を集めるためにはどうしたらいいでしょうか。

みんなで話し合って、A さん、B さん、C さん、D さん、それぞれの立場からみて公平な集め方（みんなが納得できるような集め方）になるように、下記の表の「集め方 1～4」欄に金額を書いてみましょう。

【単位：万円】

	持っているお金	集め方 1	集め方 2	集め方 3	集め方 4
A さん	1,000				
B さん	600				
C さん	300				
D さん	100				
納める税金の合計		400	400	400	400

【解説 1】税金の公平な集め方

0 時間目

1 時間目

2 時間目

3 時間目

4 時間目

5 時間目

前のページで税金の公平な集め方を考えてみてどうでしたか。

税金を集めるに当たって、「公平」というキーワードは非常に大切です。なぜなら、税金は社会を支える会費ともいわれ、みんなのために使われるもので、その集め方に不公平があってはいけないからです。

さきほど、みなさんに考えてもらったとおり、お金をたくさん持っている人もいれば、そうでない人もいます。

それぞれの立場になってみると、どの方法が「公平」なのかということが変わってきます。

約 50 種類の税金がある理由は、どれかひとつの集め方ではなくて、色んな集め方をバランスよく組み合わせることで、それぞれの立場の人から、できるだけ「公平」に集めようとしているからです。

なお、「公平」に税金を集めるために、色んな集め方をバランスよく組み合わせることを「タックスミックス」と呼んでいます。

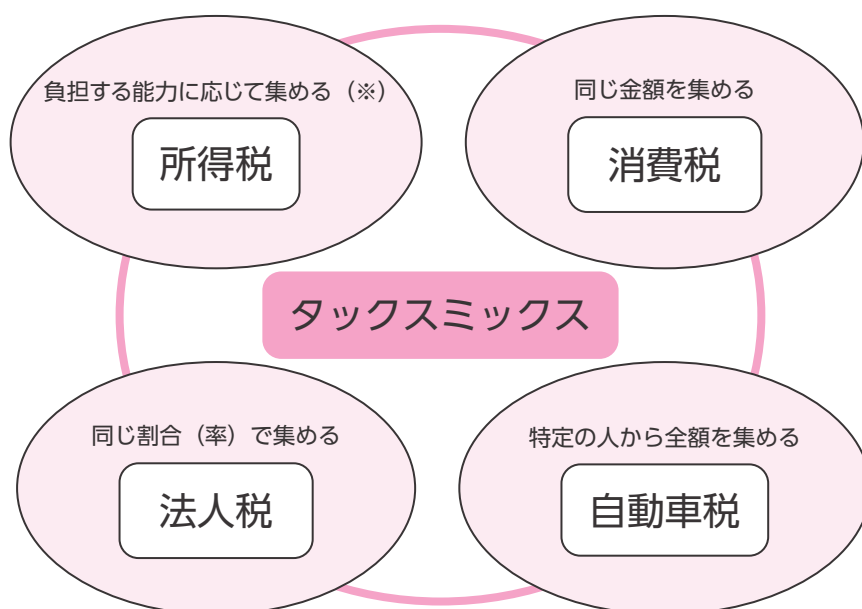
タックスミックスについては、次のページでも説明します。



【解説 2】 タックスミックス

税金を公平に集めるために、色んな集め方をバランスよく組み合わせていて、これを「タックスミックス」と呼んでいることを学習しました。

それぞれの集め方に当てはまる主な税金を組み合わせると、次の図のようになります。

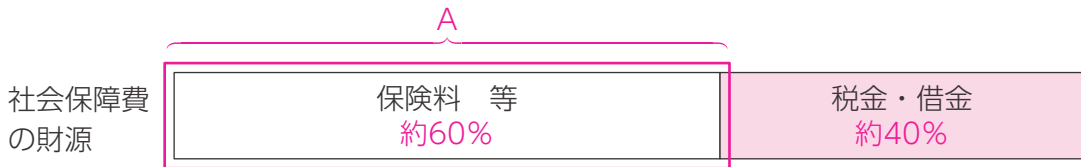


- ※ 負担する能力に応じて集める方法とは？
所得（もとづけ）の金額が多ければ多いほど、高い割合（率）で税金を納める方法です。
これを「累進課税方式（るいしん）」といいます。



【解説 9】 社会保障費と財源

社会保障費	年 金 約45%	医 療 約31%	介護・子育て等 約24%
-------	-------------	-------------	-----------------



※社会保障費とその財源のイメージ図です。正確な金額等は、厚生労働省HPをご参照ください（2ページ）。

次は、社会保障費とその財源について学んでいきましょう。

上の図は、社会保障費とその財源のイメージ図です。

みなさんは、年金保険料、医療保険料、介護保険料などの言葉は聞いたことがあると思います。これらの保険料が、まずは社会保障費の財源となります（Aの部分）。

しかし、上の図を見て分かるとおり、社会保障費は、その保険料（Aの部分）だけでは足りないため、税金や借金にも頼っているのです。

現在、社会保障費の約40%が税金や借金でまかなわれています。



【解説 10】歳出に占める社会保障費の割合

歳 出

1990年度
約66.2兆円

社会保障費 約18%	公共サービスなど 約61%	国債費 約21%
---------------	------------------	-------------



2024年度
約112.6兆円

社会保障費 約33%	公共サービスなど 約42%	国債費 約25%
---------------	------------------	-------------

歳 入

1990年度
約66.2兆円

税金など 約92%	公債金（借金） 約8%
--------------	----------------



2024年度
約112.6兆円

税金など 約69%	公債金（借金） 約31%
--------------	-----------------

※過去と現在の歳出と歳入の内訳のイメージ図です。正確な金額等は財務省HPをご参照ください（2ページ）。

上の図は、1990 年度と 2024 年度の歳出と歳入を比較したものです。

借金が増えた主な要因の一つといわれている社会保障費ですが、歳出に占める割合に注目してみてください。

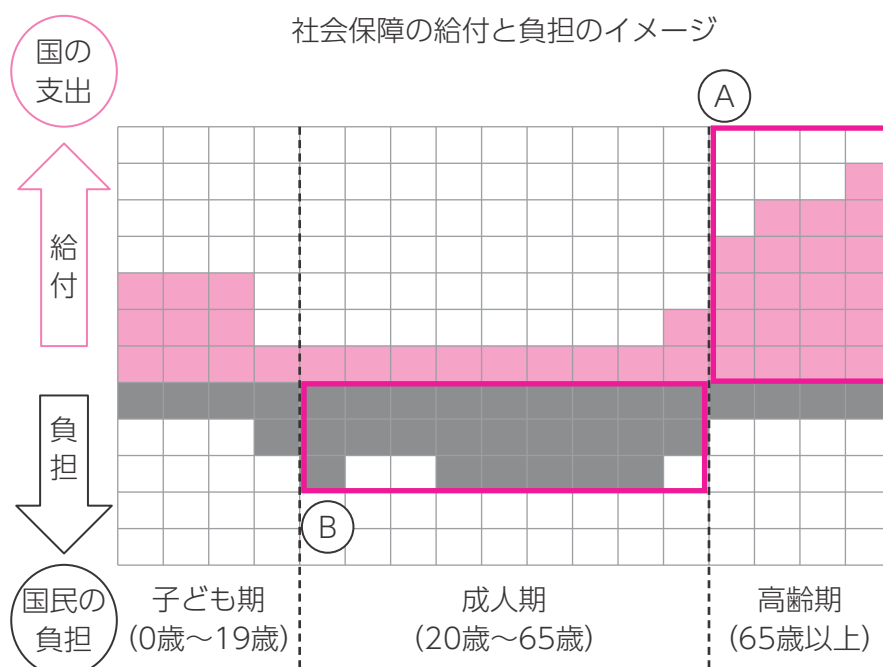
1990 年度は約 18 %であったのに対し、2024 年度は約 33 %を占める支出項目となっています。

また、歳入に占める^{こうさい}公債金（借金）の割合は、1990 年度が約 8 %でしたが、2024 年度は約 31 %と大幅に増加しました。

税金などの伸びが歳出に見合っておらず、不足分を借金に頼っていることが分かります。



【解説 11】 世代別における社会保障の給付と負担



出典：「高校生向け社会保障教育指導者用マニュアル」(厚生労働省HP) をもとに作成

上の図は、人生における、私たち一人一人の社会保障の給付と負担のイメージです。ここでいう「社会保障の給付」とは、分かりやすくいうと、国が社会保障費として支出する金額のことです。

見て分かるとおり、社会保障の給付は、高齢期と子ども期が中心となっていて、特に、高齢期は給付の金額が高くなっています (Aの部分)。一方で、それを支えているのは、成人期 (20歳～65歳) となっていることが分かります (Bの部分)。

少子高齢化が進むと、給付を支える成人期の割合が少なくなるとともに、高齢期が増えていくので、将来は、今よりも厳しい状態になることが想定されています。

なお、社会保障費は、私たちだけではなくて、企業もその一部を負担しています。企業が協力することで私たちの負担が軽減され、より多くの人々が安心して制度を利用できるようになっています。

【解説 12】 社会保障費に充てる税金が消費税である理由

社会保障費に充てる税金が消費税である理由の1つ目として、消費税は、所得税や法人税といったほかの税金に比べて、景気の変化に左右されにくい、ということがあげられます。

例えば、所得税や法人税は、所得（儲けのこと）にかかる税金なので、景気が悪くなると所得が大きく減って、^{もう} 税収も大きく減ってしまいます。

しかし、消費税は、食料品や生活必需品などの買い物やサービスにかかる税金であり、景気が悪くなったとしても税収が大きく減らずに安定しています。

社会保障費は、景気に関係なく必要なお金のため、景気の影響を受けない税金が望ましいといわれています。

2つ目の理由は、消費税は、子ども期から高齢期まで幅広い年代において負担します。成人期に負担が集中することがありません。

このように、税収が安定して、幅広い年代が広く公平に負担できるという観点から、消費税を社会保障費に充てているのです。

消費税は、子どもからお年寄りまでみんなが負担する税金なので、みんなで社会保障を支えることにもなりますね。



講師の方へ

講師のための副教材を、下記の QR コードから閲覧することができます。

本冊子を活用した租税教育の充実・発展にお役立てください。



※ QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

今日からわかる！なぜなに税金セミナー

令和 7 年10月発行

不 許
複 製

著 者 吉 田 直 実

発行者 一般財団法人 大蔵財務協会理事長
稲 垣 光 隆

発 行 所 一般財団法人 大 蔵 財 務 協 会

〒130-8585

東京都墨田区東駒形 1 丁目14番 1 号

(販売部) TEL03(3829)4141・FAX03(3829)4001

(出版編集部) TEL03(3829)4142・FAX03(3829)4005

URL <https://www.zaikyo.or.jp>

印刷・美研プリンティング(株)